



福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和 55 年に設立した在宅サービス提供機関です。  
誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

観測史上、例を見ない猛暑日も過ぎ行き、その後の長雨で、夏が突然帳をおろし、コスモスが秋風に揺れる 9 月となりました。

白露を迎えて、夜長に虫がすだき、秋涼が深まります。

夏の疲れが出やすい時季です。

皆様には、ご自愛の上、お健やかに過ごしてください。



### <紙面から>

#### 権利擁護事業

運営監視委員会報告 ……1ページ

つながりサポート事業紹介 ……2ページ

囲碁将棋大会 北町センター家族介護教室

デイサービス夏休み ……3ページ

お知らせ・リレーコラム ……4ページ

## 平成 27 年度第 1 回 権利擁護事業運営監視委員会報告

市の第 5 期長期計画（平成 24 年度から 33 年度）には、「誰もが地域で安心して暮らしつつげられる仕組みづくりの推進」の方策のひとつとして、「権利擁護事業・成年後見制度の利用促進」が掲げられています。

福祉公社は設立以来、ご利用者の生活をトータルで支援してきたことから、昭和 59 年に財産保全サービスを開始して、そのノウハウと実績を蓄積してきました。

今年度からは、全国規模で実施されている地域福祉権利擁護事業を主たる事業にすえ、固有の権利擁護事業を、ご利用者が成年後見や地域福祉権利擁護事業の利用につながるまでの緊急支援（権利擁護レスキュー）として運用しています。

福祉公社は権利擁護業務の適正性、透明性、公平性等を担保するため、決裁における段階的なチェック体制のほか権利擁護事業運営監視委員会を設置し、第三者による監視を受けています。この委員会が 7 月 24 日に開催されました。監視対象は平成 27 年 1 月 1 日から 6 月 30 日までの業務執行です。

ご利用者数は独自の権利擁護事業 167 名、成年後見人等受任 71 名、地域福祉権利擁護事業 2 名、任意後見契約締結 5 名、生活保護受給者金銭管理支援事業 19 名で、監視対象期間中の金銭管理（出納）は 2,603 件でした。

委員会に先立つ 7 月 10 日に税理士の亀田委員が新規契約者の保管物とすべての金銭管理を検査し、適正に管理され、効率よく運営されていると評価されました。また新規保管物の物件名の記載内容を統一するよう提言がありました。

今期の業務の特徴は経済虐待、詐欺被害、消費者被害の相談の増加やその対応でのサービス利用があげられます。少子高齢無縁社会の進行に伴い権利擁護ニーズは増大しています。公社はこの事業の更なる充実発展を図ります。

### 運営監視委員

委員長	棚橋正尚	元武蔵野市高齢者福祉課長
副委員長	山田修子	元武蔵野市障害者福祉課長
委員	矢島和美	武蔵野市民生児童委員協議会 第一地区会長
委員	亀田義治	税理士
委員	宮田浩志	司法書士



## 一人暮らしなど様々な老後生活の不安や没後の不安を解消するサービス！

～ 既存の福祉サービスの最後の備え つながりサポート事業 ～

福祉公社は4月から新たに「つながりサポート事業」を開始しました。

同事業は、30有余年に亘る有償在宅福祉サービスのトータルサポートの伝統を受け継いだサービスです。

専任のソーシャルワーカーが定期訪問して支援に当たる「基本サービス」と急な入院、施設利用の対応、没後の事務処理などを担う「個別サービス」に分類されます。これらを通じて、老後生活から生じる様々な生活不安を解消し、“公社につながる安心”をお届けします。

また、ご利用者が住み慣れた“武蔵野での暮らし”を継続できるよう、地域の社会資源や関係機関と連携しつつ支援を継続し、または、それらのサービスとご利用者を繋ぐ“架け橋”にもなります。

この点から、武蔵野市の目指す地域包括ケアや地域リハビリテーションを支える機能も有しています。

### いざという時に、役に立つ安心！ ご利用者のエピソード



Aさんは一人暮らし。武蔵野市に20年以上住んでいますが、ご親族は遠方に在住しているため、いざという時に、すぐに駆けつけることができません。

最近、足の状態も悪く、主治医から手術を考えるようにと言われ、生活に不安を感じていました。そのため、「万一に備え頼りにしたい」とのお考えで、7月からつながりサポート事業の利用者になりました。



ある時、担当ソーシャルワーカーが、Aさんに電話しても応答がありません。

担当ワーカーはAさんの日常生活を把握していたため、何ごとか起ったのではないかと訪問したところ、Aさんは転倒して動けない状態でした。直ちに救急車を手配し入院となりました。これでAさんは一命をとりとめ、このつながりサポート事業に大変感謝なさっていました。

このように、「専門職的確な対応による安心」をお届けするのが、この事業です。

日常生活では、いつ何が起きるか予測できません。ご自身を護り、リスクを減らす手立てが、つながりサポート事業です。

### 福祉公社サービスの特長

少子高齢無縁社会の進行に伴い、つながりサポート事業と同様のサービスを提供する株式会社、NPO法人等の団体が多々あり、特に没後の事務処理等の支援に関しては「終活の手立て」の選択肢が広がっています。

その中であって、福祉公社は武蔵野市が設立し、その指導監督を受け、市の福祉体系に位置付けられている公益・非営利のサービス提供機関と言う点に特長があります。

ご利用者の生活を包括的に支援する30年以上の実績があり、他の福祉機関とのネットワークがあります。これらを活用してサービス提供できますので、暮らしのパートナーとして、安心してご利用いただけます。

どうぞ、つながりサポート事業を活用なさり、こころやすらかな在宅生活を築いてくださいますよう、宜しく願い申し上げます。

詳細は、在宅サービス課後見係（TEL23-1165）までお気軽にお問い合わせください。



## 恒例 納涼 囲碁将棋大会 開催



7月28日に将棋大会、30日に囲碁大会を開催しました。

毎回、役員の方々のご協力を頂き、高齢者総合センターの前身である福社会館以来の歴史を持つ大会です。

将棋には25名、囲碁には70名のご参加を得て、和やかな中にも、真剣な勝負が繰り広げられました。

将棋大会の優勝は原勝美二段、囲碁大会の優勝は四段以上の部・平野正久六段、三段以下初段までの部・平澤達司三段、1級以下の部は原勝美1級でした。原氏はダブル受賞です。おめでとうございます。

センター3階には囲碁将棋コーナーがあり、同好の士が集い、自由対局が出来ます。

介護予防・認知症予防の見地からも、新たに脚光を浴びる伝統の囲碁・将棋。

脳トレーニングと仲間づくり、こころと体を健やかに保つためにも、皆様のご利用をお待ちしています。

## 北町高齢者センター 家族介護教室「高齢者施設のいろいろ」

平成27年7月28日、「高齢者施設のいろいろ」と題して、民間介護施設紹介センター「みんかい」の森泉講師から高齢者の施設や住宅について学びました。

老後の住まいについて一般的知識を得たい、今後の生活の参考にしたいと、ご利用者とそのご家族15名、その他12名の合計27名がお集まりくださいました。

既存の施設や住宅の一覧表をもとに、その特徴が分かりやすく説明され、主に有料老人ホームとサービス付き高齢者住宅の違いが、入居の条件や費用・居室の特徴などの諸点から解説されました。やはり費用負担の点では、良い施設は、どこの地域でも高額になるとのことです。ご出席者からはご好評で、更に具体的に話を聞きたい等のご要望を頂きました。

当日の資料がありますので、ご関心のある方は、当センターまでお気軽にお問い合わせください。

連絡先：北町高齢者センター TEL 54-5300



## 盛況！！ 恒例 夏祭り



長雨が続き、往く夏を惜しむ間もなく秋が足早に訪れたかのような8月31日、恒例の高齢者総合センター・デイサービスセンターの夏祭りが開催されました。

ご利用者ご家族、地域のお子さんとそのお母さま方71名をお迎えして、総勢150名がにぎやかで楽しいひと時を過ごしました。



「まちぐるみの支え合い」である地域包括ケアの実現にとって、デイサービスセンターが地域に開かれ、皆さまの交流の拠点となることは重要な役割の一つです。ご参加の皆さま、誠に有難うございました。

ご利用者は、出店や金魚すくいなどの各種コーナー、じゃんけんゲームなどを楽しみながら、お子さん達とやさしい笑顔で交流を深めていました。

また、和太鼓SOHの皆さまの魂のこもった演舞に、感激の涙を流して鑑賞するご利用者が何人もいらっしゃいました。特に漁師町で豊漁を願う「ぶち合わせ太鼓」、秩父の「屋台囃子」の圧倒されるような迫力に、お子さん方もこぶしを握り締め、じっと見入っていました。



SOHは市の現役・OB保育士を主なメンバーとする和太鼓のサークルです。

毎年、ご利用者の皆様に演技をご披露し、交流することを楽しみになさっています。

大きな感動を呼んだご熱演に重ねて御礼申し上げます。



# 公社からのお知らせ



## 秋の風物詩

## はなみずき祭

どなた様も、お誘いあわせの上、おいでください。心よりお待ちしております。



日時 平成 27 年 10 月 17 日 (土) 11 時から 14 時 場所 北町高齢者センター 1・2 階  
内容 バザー (ご利用者が製作した粘土や手芸作品等) デイサービスプログラムの作品展 軽食販売 催し物等  
問合せ 北町高齢者センター ( 吉祥寺北町 4-1-16 Tel 54-5300 )

### 家族介護支援教室 みどりの輪

「仕事を あきらめない介護を 考えてみませんか」

日時 10 月 31 日 (土) 13 時から 15 時 (定員 50 名)  
場所 高齢者総合センター 4 階研修室  
講師 服部安子氏 (浴風会ケアスクール校長)  
問合せ・申込 在宅介護支援センター Tel 51-1974



### エンディングノート講座

～ 転ばぬ先の老いじたくを考える方に ～  
「歩んだ道を記し 残された人に指針を」

日時 9 月 30 日 (水) 13 時 30 分から 15 時  
場所 福祉公社 1 階会議室  
問合せ・申込 在宅サービス課後見係 Tel 23-1165

## 職員リレーコラム

第 16 回

《 水道道路 》

在宅介護支援センター 大谷 さつき

わたしは神武景気もそろそろ終焉し、もはや戦後ではないという時に吉祥寺本町に生まれた。

いずみ幼稚園から武蔵野一小に入学し、武蔵野一中の 1 年生で他県に引っ越した。ゆえに、わたしの子供時代の思い出は、すべてここ武蔵野にある。当時の武蔵野は、まだまだ長閑で、ゆったりとした時間が流れていた。

家の前には水道道路と呼ばれる、野原のような砂利道が東西に伸びていた。地下に水道管が埋めてあるので、頑丈な石の杭が路地の出入りに打ちこまれ、自動車をいれないようにしていた。

その聖域が、わたしの遊び場であり、学びの場でもあった。ときには成蹊大学馬術部の馬がパッカ、パッカと音を立てて通りすぎ、遠く吉祥寺駅の方角に「名店会館」の白・赤・紺のアドバルーンが揺れていた。

子供のわたしには、その道路が自分の家の庭であるかのような感覚があった。春には隣家の庭から伸びた満開の桜の下でままごとをし、夏には道路に覆いかぶさるような大きな入道雲を仰ぎながら一小のプールに通い、秋にはフルオーケストラの虫の声を子守唄に眠りに落ち、冬には母と姉と道路に出て「あれがオリオン座…」と天然プラネタリウムで星座を楽しんだ。今、そのなつかしい景色を見ることはかなわないが、わたしにとって現在の井の頭通りは特別で、そこにはセピア色をした家族との思い出がある。

⇒ 次回は 在宅介護支援センター 高山 雅子

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

次号は平成 27 年 10 月 9 日発行予定です



### 武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町 1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車

☎0422-23-1165 (総務課、在宅サービス課)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

### 武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町 2-4-1

バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護支援・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

### 武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町 4-1-16

☎0422-54-5300 バス停「北町四丁目」から徒歩三分

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikoshi.jp/>